

平成 28 年第 2 回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	17	山田和明	<p>1 介護保険と身体障害者施策の調整する事項について</p> <p>(1) 障害者が 65 歳に達して介護保険制度のサービスに移行したが、これまで障害者であって月にかなり長時間ホームヘルプサービスを身体障害者施策から利用していた者が介護保険の要介護度に応じた支給限度額では従来の同様のサービスの利用が継続できない場合など、制度間の円滑な移行について特に配慮すべきではないのか、伺う</p> <p>2 水道事業について</p> <p>(1) 安全で安定的な水の確保について</p> <p>(2) 大崎地方広域水道企業団の設立について</p> <p>3 防災行政無線整備事業について</p> <p>(1) 防災行政無線テレホンサービスの充実について</p> <p>(2) デジタルサイネージの活用について</p>
2	7	相澤久義	<p>1 安全・安心な市道の改修整備について</p> <p>(1) 各地域の水害時の通行どめ市道箇所数と改修整備状況は</p> <p>(2) 今後の改修整備計画は</p> <p>2 農業委員会等に関する法改正への大崎市の対応について</p> <p>(1) 公選制を廃止し、市長による選任制（議会の同意を得て任命）となるが、農業団体の推薦によるのか、公募か</p> <p>(2) 農業委員の定数は何を基準に定めるのか。また、構成内容はどう考えているのか</p> <p>(3) 現在の本市農業委員会は、農政部会、西部農地部会、東部農地部会となっているが、変更後の体制はどうなるのか</p> <p>(4) 農地利用最適化推進委員会の事業内容と人数、選任方法は</p> <p>(5) 法改正に伴う条例改正とその時期は</p> <p>3 地区公民館運営と地区コミュニティーづくりについて</p> <p>(1) 市内に 18 地区公民館があり、第 2 期目、平成 27 年から 29 年の 1 年間の指定管理料及び 3 カ年の総額は。地区の人口 1 人当たりになるといくらか。 また、平成 30 年以降の地区公民館運営と指定管理料の考え方は</p> <p>(2) 旧志田郡地域には地区公民館はないものの、各地区では会費を出し合い、運動会、夏祭り、コミュニティースポーツ等を独自に開催してコミュニティーづくりに貢献している。各行政区に対して補助金等の考えはないのか</p>
3	14	只野直悦	<p>1 伝統芸能の保存、継承について</p> <p>(1) 伝統芸能の保存、継承の現状と課題</p> <p>(2) 無形民俗文化財に指定への進捗状況</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
4	11	横山悦子	<p>ア 調査結果と文化財保護委員会の審議と指定の見通し</p> <p>(3) 次世代への継承と課題</p> <p>2 交流人口を拡大するまちづくりについて</p> <p>(1) 国内都市交流の推進</p> <p>ア 大崎市 10 周年記念関連事業と都市交流</p> <p>イ 大阪府田尻町との交流推進を関西圏の突破口にすべきと思うが、どうか</p> <p>ウ 交流再構築の進捗状況について</p> <p>3 「おおさき宝大使」の取り組みについて</p> <p>(1) 「おおさき宝大使」の委嘱について</p> <p>ア 4 期目の状況と、新たな委嘱への対応</p> <p>1 東北新幹線沿線の騒音・振動問題について</p> <p>(1) 10 県協議会の開催時に東北新幹線の騒音、振動の改善を東日本旅客鉄道株式会社側に依頼することになっていたが、本市は出席したのか。また、要望内容と結果について伺う</p> <p>(2) 大崎環第 1589 号で提出した要望書に対する東日本旅客鉄道株式会社の回答について、伊藤市長の考えを伺う</p> <p>(3) 「環境審議会で今回の新幹線の被害について討論していただきたい」、また「新幹線の騒音、振動被害を受けている他の自治体と連携して進めていただきたい」との件の進捗状況について伺う</p> <p>(4) 本年 3 月 15 日の大崎市独自での測定結果と、その後の対応について伺う。また、測定地点が鉄道中心から 25 メートルとなっているが、その内側にも人家が存在するので測定する必要があると思うが、その考えについて伺う</p> <p>2 熱中症予防対策について</p> <p>(1) 公立学校への冷水機の設置について、夏場の熱中症予防に加え、災害時における避難所としての利用も想定し、ユニバーサルデザインとして推進すべきと思うが、どうか</p> <p>(2) 新図書館や公共施設への冷水機設置について伺う</p> <p>3 ドクターヘリのランデブーポイントについて</p> <p>(1) 宮城県でもことしの秋からいよいよドクターヘリの運航が開始されるが、本市のランデブーポイントは、民間が管理する場所も含めて、何カ所予定しているのか</p> <p>(2) ランデブーポイントの候補地については、現在は消防機関が選んで県に推薦する仕組みになっているが、今後、町内会など地域住民からの推薦も受け付けてはどうか</p> <p>(3) ランデブーポイントが砂ぼこりが舞う場所である場合の砂ぼこり対策について</p> <p>(4) 県は、平成 28 年度予算にドクターヘリのランデブーポイントの整備費用を盛り込んだ。1 カ所当たり 500 万円を上限としているが、進めてはどうか</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
5	15	相澤孝弘	<p>(5) 他県では全てのランデブーポイントに看板を設置しているケースが見られるが、場所の周知等のための看板設置の考えについてはどうか</p> <p>(6) ランデブーポイントの安全確保については、原則、消防職員が担当することになっている。消防職員が対応できない場合、かわりに自治体職員や民間人が安全確保に協力している例もある。ランデブーポイントの安全確保への協力体制についてどう考えているのか、伺う</p> <p>1 9・11 関東・東北豪雨災害の被災から考える防災の取り組みについて</p> <p>(1) 復旧工事の進捗状況について</p> <p>(2) 再発防止に向けた緊急時の警戒態勢と迅速な情報提供について</p> <p>(3) 被災者の心理的なケアの取り組みについて</p> <p>(4) 再び被災しないために、国や県にどのような働きかけを行っているのか</p> <p>2 子育て世代の支援は万全な状況と言えるのか</p> <p>(1) 保育所の待機者解消は全国的な問題となっている。大崎市の現状と今後の見込みについて伺う</p> <p>(2) 放課後児童クラブの登録・利用状況と、問題の解消にどのような取り組みをしているのか</p> <p>3 学校施設の維持管理について</p> <p>(1) 震災復旧が全て終わったと受けとめているのか</p> <p>(2) 児童数が多い第五小学校は避難所にも指定されているが、施設の安全面に十分な配慮がされていない。いつまで放置するのか</p>
6	1	佐藤仁一郎	<p>1 米政策の今後をどうリードするかについて</p> <p>(1) 2018年に転換期を迎える米政策などに対し、大崎農業のあるべき姿、政策をどのようにリードし、県、国に訴えていくのか</p> <p>2 森林伐採に伴う保全策について</p> <p>(1) 大崎市内における昨年の伐採面積はどれくらいか</p> <p>(2) 伐採終了後の環境保全指導等を行っているのか</p> <p>(3) 再生に向けた再造林などの支援策はあるか</p> <p>3 用途地域における企業誘致と税制について</p> <p>(1) 工業専用地域に対する企業誘致の方向性は</p> <p>(2) 用途地域の指定を受け、納め続ける都市計画税に対する市の方向性は</p> <p>(3) 線引き区域における固定資産の評価額の考え方を伺う</p> <p>4 大崎市地区集会所の管理方式の方向性について</p> <p>(1) 大崎市集会所整備事業補助金交付申請件数を伺う</p> <p>(2) 大崎市地区集会所条例第2条に規定される集会所の管理方式の方向性は</p>
7	29	小沢和悦	<p>1 9・11 豪雨被害被災者支援策について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
8	3	八木吉夫	<p>(1) 分け隔てのない被災事業者支援策について</p> <p>2 宮城県地域医療構想策定作業と大崎市の対応について</p> <p>(1) 宮城県の地域医療構想策定作業過程での大崎栗原医療圏「慢性期病床 800 削減」問題は怎么样了のか</p> <p>(2) 実態を反映した地域医療構想にすることについて</p> <p>3 自衛隊員募集業務と「安保健制」の問題について</p> <p>(1) これまでの自衛隊員募集業務の考え方について</p> <p>(2) 「安保健制」下、「集団的自衛権行使」で自衛隊員に身の危険はないのか</p> <p>(3) 震災、水害などで活躍した自衛隊員を「戦死」させないための努力について</p>
9	9	木村和彦	<p>1 ごみ焼却施設の拡張に伴う地域振興策について</p> <p>(1) 余熱を利活用した先進事例が全国各地にあるが、大崎市としてはどのように捉えているのか、伺う (例 地域冷暖房、入浴施設、温水プール、スマートシティー等)</p> <p>2 地元農産物、大崎産黒毛和牛、仙台牛の消費拡大策について</p> <p>(1) つくるだけではなく、いかにして消費拡大を推進させるのか、伺う</p>
10	8	鎌内つぎ子	<p>1 中心市街地の今後について</p> <p>(1) 市役所周辺及び市民病院跡地再開発の予定と広域消防本部建設の事業との連携について</p> <p>ア 新庁舎建設計画の進捗状況について</p> <p>イ 防災本部と消防本部の連携について</p> <p>ウ 民間で計画されている再開発計画と行政のかかわり</p> <p>2 図書館建設の進捗について</p> <p>(1) 期待される図書館に近づいているのか</p> <p>ア 周辺道路整備と当初設計からの変更点は</p> <p>イ 附帯ホールの整備内容（要望に込えているのか）</p> <p>ウ 新図書館整備後の運用方法、アウトソーシング等</p> <p>3 指定管理制度について</p> <p>(1) 指定管理の基本的な考え方</p> <p>ア 指定管理後の検証方法</p> <p>イ 期間内での変更について</p> <p>(2) 施設移譲とコストパフォーマンス</p>
10	8	鎌内つぎ子	<p>1 県北中心の大崎市において少子化対策の取り組み強化で人口減に歯止めを</p> <p>(1) 子どもの医療費の所得制限を撤廃することについて</p> <p>(2) 保育料の軽減策について</p> <p>ア 平成 27 年度分より算定基準が世帯の所得税から両親の住民税になり、子どもが 3 人以上になるほど保育料が高くなった人への対策について</p> <p>(3) 医療行為が必要な重度障害児保育の受け入れ体制について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
11	21	木内知子	<p>(4) 少子化対策の一環として若者向きの住宅建設を ア ミレニアムタウンたじりの2期地区の推進について</p> <p>2 新図書館について (1) 創作室の利活用について</p> <p>3 介護保険について (1) 介護保険を利用していない75歳以上に対する給付などの対応について</p> <p>1 原発事故による放射能汚染問題について (1) 汚染牧草, 稲わらの保管のあり方について (2) 被曝を防ぐ避難計画について (3) 学校教育での対応について</p> <p>2 投票所設置のあり方について (1) 縮小による投票行動の検証はなされたのか (2) 投票率向上勸奨と逆行しないのか</p>
12	5	佐藤弘樹	<p>1 大崎市誕生10周年記念事業の申請状況と市内活性化策について</p> <p>2 地区公民館職員の人財育成と協力体制について</p> <p>3 家庭教育推進と連携状況について</p> <p>4 各地域観光事業との連携強化及び情報発信策について</p> <p>5 起業・創業支援体制と成果について</p> <p>6 (仮称) サンクチュアリセンター設置の考えについて</p> <p>7 大崎市民病院の組織再編及び意識改革成果について</p> <p>8 鹿島台駅東土地区画整理事業の現況について</p>
13	10	加藤善市	<p>1 大崎市の道の駅構想について</p> <p>2 DV対策について (1) 各課の連携について</p> <p>3 TPP対策について (1) 農商工の団体トップとのサミット開催の考えは</p>
14	27	大山 巖	<p>1 個人情報の保護に関する法律への過剰反応について (1) 個人情報の保護に関する法律は, 誰もが安心してIT会社の便宜を享受するための制度的基盤として制定され, 平成17年4月に全面施行された。しかしながら, この法律に対する誤った理解から, 本来必要とされる個人情報の提供が行われないなど, 過剰とも言える反応が見られ, 弊害が指摘されている。具体的には, 地震や水害が発生した時, 援助が必要なお年寄りや障害を持つ方々のリストづくりが進んでいないこと, 学校の連絡網の作成ができない, 民生委員の活動に支障を来している等である。市長はこの個人情報の扱いについて, どのような判断基準を持っているのか, 伺う</p> <p>2 電線類の地中化推進について (1) 都市火災の防止, 安全で快適な通行空間の確保, 景観の観点からも, 電線類の地中化は重点的に実施すべき施策であると考え。政府の緊急経済対策等でも重点</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>的な施策の一つと位置づけられており、我が国の遅れている施策の一つであり、大地震等で電柱上の大きな変圧器が落下してくることを想像すると、防災の観点からも地中化の推進が必要と考えるが、市長の考えを伺う</p> <p>3 交通違反の処分基準について</p> <p>(1) 市職員の交通違反者に対する処分基準の設定問題について伺う</p> <p>ア 従来から市職員が交通事故を起こしたり、交通違反をするケースがたびたびあり、その都度、市長は全職員に厳重に注意し、二度と事件が起きないようにすると本会議場で弁明しているにもかかわらず、違反は後を絶たないようである。</p> <p>特に、公務に携わる者による飲酒、酒気帯び運転については、厳しい処分を求める世論がある。この種の処分基準を制定することについて、市長の考えを伺う</p> <p>4 全国学力テストの結果と学力向上の取り組みについて</p> <p>(1) 学力テストについては、その結果の公表をどのように行うかということで各地で問題になっているが、学校の序列化を私は求めているわけではないので、答えをいただきたいということではない。しかし、何かを行ったら、その結果を確かめ、結果を分析して将来に生かすということで改善があるわけなので、学力テストの結果についてどのように受けとめているのかということ、今後はどのような学力向上のための取り組みを行う考えか、伺う</p>
15	2	佐藤仁一	<p>1 消費税増税の再延期による地方財政への影響について</p> <p>(1) 2017年4月予定の消費税10%引き上げを2019年10月まで再延期することによる地方財政への影響、連動する本市の財政運営への影響にどう対処するか、所信を伺う</p> <p>2 大崎市西部地域（過疎地域）における元気創出について</p> <p>(1) 加速的な人口減少、小学校の統合などに伴う地域力再生への取り組みを伺う</p> <p>(2) 元気創出に、地域経済機関のJAや商工会との協働を進めることについての所信を伺う</p> <p>3 第3セクターへの派遣役員の責任と指導について</p> <p>(1) 過去に株式会社池月道の駅へ派遣した役員による混乱や経営損失発生の責任をどう捉えているか、伺う</p> <p>(2) その他の第3セクター（株式会社アクアライト台町、株式会社オニコウベ）の経営改善等の効果を伺う</p>
16	22	豊嶋正人	<p>1 児童扶養手当などの「まとめ支給」による生活保護費への影響について</p> <p>(1) 生活保護受給世帯で、低所得のひとり親世帯に出る児童扶養手当、障害児者のいる世帯に出る特別児童扶養手当、子育て世帯に幅広く出る児童手当などを受けて</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
17	6	中鉢和二郎	<p>いる世帯では、月収が大きく変わり、最大で3倍近くの「収入の波」ができるという。こうした現状をどのように受けとめているか。</p> <p>(2) 制度上のことだとはいえ、改善策はないのか</p> <p>2 空き家条例の取り組み状況について</p> <p>(1) 条例施行後の取り組み</p> <p>(2) 特定空き家の解体までの道のりは</p> <p>(3) 有効活用策は</p> <p>3 公衆用道路に大幅にはみ出した民家の生垣、樹木の枝の対策について</p> <p>(1) 現状はどうしているか</p> <p>(2) パトロールをしながら、その場で剪定等の要請はできないか</p> <p>1 大崎市地域自治組織戦略体制整備モデル事業について</p> <p>(1) 本年度の施政方針で創設が表明された事業だが、5月27日で第1次募集が終了と聞く。どれだけの応募があったのか。また、応募した団体の具体的な事業内容がどのような内容だったのか、伺う。</p> <p>地域からは、制度の内容がよくわからず取り組みにくいとの声が聞かれるが、制度設計としてどのような具体の事業を想定していたのか。そして、事業交付金の限度額算定の基礎となる根拠もあわせて伺う。</p> <p>さらに、この事業の成果はどのように評価されるのか。そして、雇用される地域支援コーディネーターの業務の評価は誰がどのように行うのか、伺う</p> <p>2 過疎地域等における集落対策の推進（集落支援員制度導入）について</p> <p>(1) 地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウ、知見を有した人材が地方自治体からの委嘱を受け市町村職員と連携し、集落への「目配り」として集落の巡回、状況把握等を実施するという集落支援員制度だが、本市への導入の考えについて伺う</p> <p>3 トライアルステイ（お試し居住）について</p> <p>(1) 移住したいけれども、郊外は賃貸物件が少ないし、いきなり物件を買って移住するのもハードルが高い。地域のコミュニティーになじめるのか、通勤はできるのか、生活の利便性はどうかなど、不安がいっぱいである。</p> <p>トライアルステイは、行政と民間企業が協同のもと、地域の魅力的な空き家を移住希望者にお得な条件で提供し、体験居住を通して地域とのフィット感を確かめていただくプログラムとして昨今活発に実施されていると聞く。</p> <p>本市の移住定住支援及び空き家対策として、本市でも取り組むべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>4 消費税税率アップ再延期の影響について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
18	19	氏家善男	<p>(1) 先ごろ、消費税税率アップ再延期が表明された。行政運営のさまざまな面への影響が懸念される。中期財政計画及び新総合計画の策定、また策定済みの諸計画実施上、どのような影響が想定されるのか、伺う。</p> <p>また、平成26年4月の税率8%へのアップの際、1年半後の平成27年10月に再度税率が10%へアップされることから、使用料等の消費税分の値上げを見送り税率10%に上がった段階で値上げを実施することにしていた。しかし、その後の環境変化から税率アップは1年半延期、そしてさらに2年半延期となった。</p> <p>このままでは、本来徴収すべき5%から8%への値上げ分3%の消費税が5年半も徴収されず、本来の使用料等の目減りとして財政負担となっている。この問題を早急に解消すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>1 保育所の運営について</p> <p>(1) 保育士の充足状況</p> <p>(2) 保育士の待遇改善について</p> <p>(3) 統廃合に向けた住民合意について</p> <p>2 9・11 豪雨災害の被害と復旧状況について</p> <p>(1) 3月末で届け出た被害（農地及び農業施設）の状況について</p> <p>(2) 刈り取り後の復旧もあるが、その状況について</p> <p>3 安全基準値を超える農産物の対策について</p> <p>(1) カドミウム米の発生について</p> <p>ア 発生原因と面積</p> <p>イ 今後の対策</p> <p>(2) 福島第2原発事故による放射能汚染での基準値を超える山菜等の状況と検査体制</p> <p>(3) 汚染牧草の保管について</p> <p>ア 再測定による作業の実施は</p> <p>イ 今後の一時保管を含めた県全体としての対応について</p> <p>4 黄金田簡水施設の撤去について</p> <p>(1) 真山簡水と統合し、不要となった施設の撤去と跡地整備について伺う</p>
19	18	後藤錦信	<p>1 介護サービスの充実について</p> <p>(1) 施設サービスの取り組みについて</p> <p>ア 待機者数の現状について</p> <p>イ 第6期計画で開設を計画している施設の進捗状況について</p> <p>2 観光振興について</p> <p>(1) 市内7地域の連携強化とみやぎ大崎観光公社の役割について</p> <p>(2) 周辺エリアとの広域連携について</p> <p>ア 栗駒国定公園エリアでの連携</p> <p>イ 東北観光推進機構との連携</p> <p>(3) インバウンドへの対応について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
20	4	氷室勝好	<p>1 福祉行政の推進について</p> <p>(1) 地域ごとの人口や面積，地理的要件，世帯構成等の総合的に勘案された民生委員数の配置とのことであるが，ニーズに応えた福祉サービス等の支援状況について伺う</p> <p>(2) 民生委員の職務多様化により，業務の範囲が広がっていると認識するが，適正な定員数の方向性とその確保について伺う</p> <p>2 農業の振興策について</p> <p>(1) 稲作を取り巻く環境は厳しい状況にあり，就農人口の減少，高齢化による生産基盤の衰退を食いとめる方策として，国においては農地の集約化等を推進しているが，主食の米価の価格下落傾向の中にあつて，本市においては国や県の政策を活用しながら，本市の独自施策に取り組むとのことであるが，その成果と今後の方向性について伺う</p> <p>(2) 「ササニシキ」，「ひとめぼれ」の研究開発された地であり，加えて，新品種「ささ結」のブランド化の推奨などに取り組む方針であるが，一方，減反政策の見直しは国より公表されており，本市の農業基幹作物である水稻への今後の方策について伺う</p> <p>3 移住定住策の促進について</p> <p>(1) 人口減少対策，さらに地域活性化の促進の取り組みとして，おおさき市地方創生総合戦略に基づき補助金交付メニューが公表され，市民等へのPRに取り組んでいるが，その周知及び把握状況について伺う</p> <p>(2) 移住を希望する人に生活支援等のサポーターを活用するとのことであるが，その計画，活動内容について伺う</p>	